



岩手県県北家畜保健衛生所  
岩手県北家畜衛生協議会

### 目 次

巻頭言	・・・1
牛サルモネラ症に要注意・BSE検査に御協力ください	・・・2
万全な暑熱対策を！	・・・3
飼養衛生管理者・久慈地域おこし協力隊・新体制紹介	・・・4



## 巻 頭 言

所長 村上 隆宏



日頃より、当管内の家畜衛生行政の推進に御協力、御尽力賜り厚く御礼申し上げます。

申すまでもなく、今、世界はコロナ禍にみまわれています。3月中旬頃だったと思いますが、しばらく会っていない貿易業に携わる知人から突然電話があり、「アジア圏の取引先からの情報では、報道されている中国のコロナの状況はごく一部。実際はもっと酷いことになっていて、武漢では道端で人が倒れているらしい。そのくらい怖い病気。日本もこれから大変なことになる。自分の命は自分で守るしかないから、あなたも気をつけなさい」との内容でした。半信半疑のまま電話を切ったのですが、その後の状況はご存じの通りで、新型コロナウイルス感染症による人的被害、経済活動の停滞、そして勤務形態や生活様式を変えざるをえないような事態となっています。

緊急事態宣言の解除、都道府県間の移動自粛も段階的に緩和され、徐々に活動が再開されつつありますが、第2波（本県にとっては第1波）、第3波の襲来が危惧されます。

この感染症自体は、ワクチンの開発により収束する可能性が高いと思われませんが、いわゆるアフターコロナの世界については、以前と同じ世界には戻らず、必然的に変化が起きるだろうというのが多くの意見です。その一つが大都市機能の地方分散が加速するというもので、東京一極集中では感染拡大のリスクが高い等がその理由です。また、外出自粛による巣ごもりの経験から、食生活や農業への意識が変わった、地方移住に対する興味が高まった、等の報道もみられます。この災禍が、地方活性化につながるきっかけになるかもしれません。

感染が少なからず続いており、先行きは不透明ですが、危機が好機になることを願うとともに、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息することをお祈りします。



# 牛サルモネラ症に要注意！

今年の4月から6月までに、久慈地域の複数の酪農場で牛サルモネラ症が発生しました。サルモネラ菌は、人の食中毒の原因菌となるため注意が必要です。農場への侵入防止と牛の健康観察を強化し、感染を予防しましょう。

## 【どんな症状？】

### ①発熱（40℃前後） ②下痢・軟便・血便 ③乳量の減少

\*導入牛、人、物品、野生動物などによって農場内へ侵入したサルモネラ菌が牛に感染し、暑熱や分娩などのストレスが引き金となり発症します。

## 【対策は？】

### ①侵入防止

- ・牛舎への関係者以外の立ち入り制限
- ・来場者の車両及び履物の消毒
- ・野鳥、野生動物の侵入防止
- ・導入牛の隔離及び健康観察



### ②まん延防止

- ・牛舎の定期的な清掃・消毒（特に飼槽・ウォーターカップ）
- ・異常牛の早期発見・隔離・治療

## 【発生の影響は？】

- ・著しい乳量の減少や流産により、大きな経済的被害をひきおこします。
- ・抗生物質による治療期間（出荷制限期間）の生乳は廃棄となります。
- ・無症状で排菌を続ける保菌牛により、感染が拡大します。

## 死亡牛の牛海綿状脳症(BSE)検査に御協力願います

### ①死亡牛届出の提出

死亡牛は、速やかに獣医師の検案を受け、死亡牛届を提出してもらってください。

獣医師が検案しない場合は、家畜保健衛生所に御連絡ください。

### ②死亡牛の保冷库への早期搬入

高温となる夏期は、**死亡牛の腐敗が早くなります。**

検査材料の融解等により、**BSE検査が不能**となる場合がありますので、保冷库へ早期に搬入願います。





# 万全な暑熱対策を！

## 例年、管内での暑熱による鶏の大量死事例が複数発生

特にも、急激な気温上昇時において機器の不備や管理失宜による事例が多く見受けられます。

## 設備点検、鶏舎環境の整備によりトラブルを回避

センサー・電源・警報機器、ファンベルト、飲水設備等の作動確認は済みましたか？

また、散水による床面悪化にも対処しましょう。

万が一の事故発生時は、直ちに家保に通報してください。

- ・日齢
- ・温度（鶏舎内・外）
- ・死鶏分布
- …など



## この夏は例年よりもいっそうご注意ください！ —作業中の熱中症予防対策について—

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用や、いわゆる「3密（密集、密接、密閉）」を控えるなど「新しい生活様式」が定着しつつあるなか、飼養者及び関係者にも作業中やその前後で同様のことが求められています。一方、これから気温・湿度が上昇する季節を迎え、マスク着用により、熱中症発生リスクが高まることが予想されます。作業中はこまめな水分・塩分補給に加えて、

- ①屋外で人と十分な距離（2m以上）を保てる場合は適宜マスクを外すこと
- ②マスクを着用しての負荷のかかる作業は避け、早めに休憩をとること
- ③3密を避けながら、なるべく複数人で互いに声掛けをして作業するなど心掛け、例年よりもいっそう熱中症にご注意いただき、作業中の事故を防ぎましょう。

<参考>環境省・厚生労働省、令和2年5月「令和2年度の熱中症予防行動」

# 飼養衛生管理者制度が始まりました

令和2年4月3日公布の「家畜伝染病予防法」改正により、衛生管理区域ごとに飼養衛生管理者を設置することが定められました（令和2年7月1日施行）。

家畜の所有者は、飼養衛生管理者を選任し、以下を報告してください。

- ・氏名
- ・住所
- ・電話番号
- ・FAX番号
- ・メールアドレス

頂いた情報は県から国に提供されます。

## お知らせ「久慈市地域おこし協力隊」の募集

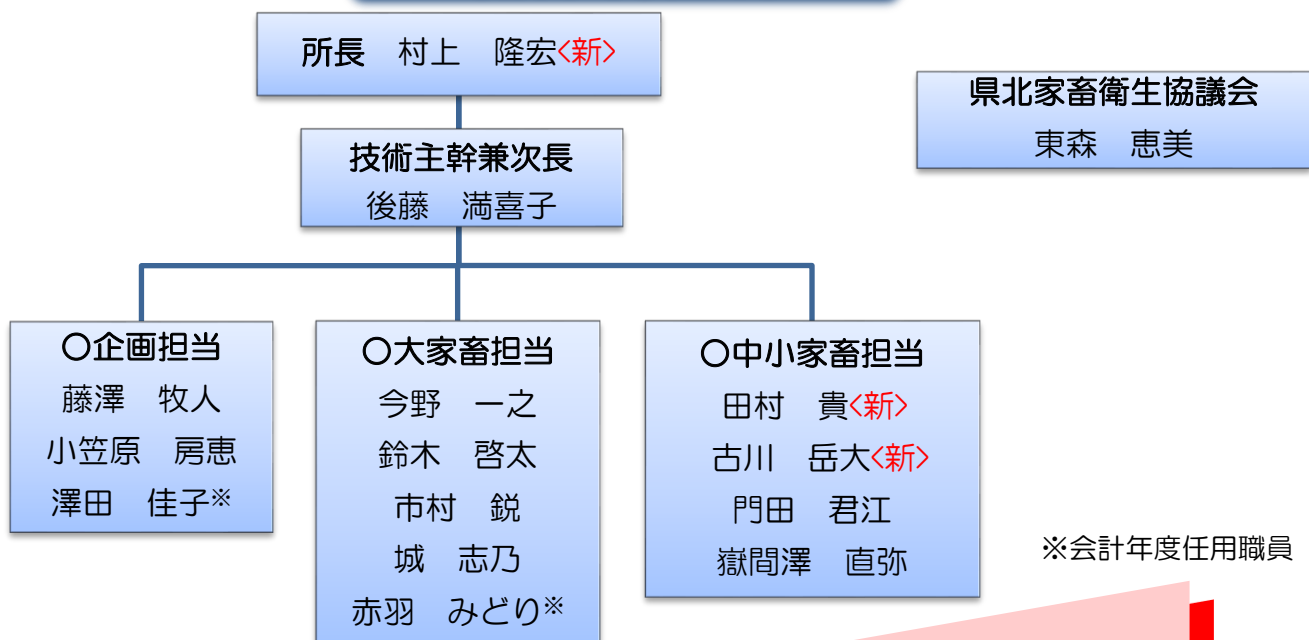
久慈市でドローン等の最新技術を用いて牛のお世話をしてみませんか？  
希少な和牛である日本短角種の飼養に携わることができます。  
都市地域等に在住の方を対象として1名募集しています。

詳しくは久慈市山形総合支所産業建設課までお問い合わせください。

（住所：久慈市山形町川井8-30-1 TEL：0194-72-2111）



## 新体制紹介



<<発行元・問い合わせ先>>

岩手県県北家畜保健衛生所

電話：0195(49)3006

岩手県北家畜衛生協議会

FAX：0195(49)3008

電話：0195(49)3040